

2

問題

《イギリス議会政治の発展》

- ★¹ 13 世紀後半から 14 世紀半ばにかけての時期におけるイギリスの議会政治の発展について、
 ★² イギリス国王との関係に着目し、150 字以内で説明せよ。 (25 点)

ポイント

イギリスの議会政治の発展について出題した。各時期の議会の内容と、発展の背景となった出来事について理解を深めよう。

本問では「13 世紀後半から 14 世紀半ばにかけて」という時期指定が設けられていることに注意し、盛り込むべき事項を正確に見極めてほしい。

解 答

ヘンリ 3 世が大憲章を無視したため、シモン＝ド＝モンフォールら貴族が反乱を起こして国王を屈服させ、聖職者と貴族に州・都市の代表を加えた議会在 1265 年に成立した。これがイギリス議会の起源となった。1295 年にはエドワード 1 世が身分制の模範議会を召集し、14 世紀半ばに上院と下院から成る二院制議会の基礎が築かれた。(150 字)

解 法

思考のプロセス

本問では「イギリスの議会政治の発展」について問われているが、★¹で「13 世紀後半から 14 世紀半ばにかけて」という時期指定が設けられていることから、1215 年の大憲章の成立から解答を書き出してはいけないということに注意しよう。13 世紀後半の出来事として、シモン＝ド＝モンフォールの議会 (1265) から書き出さなくてはならないと気がついてほしい。

次に、★²で「イギリス国王との関係に着目し」とあることから、この期間の議会政治の発展の背景を、イギリス王の名を適宜挙げつつ説明する必要がある、と解釈できるだろう。イギリス国王が議会政治の発展にどのように関与したか、明確にして解答に盛り込もう。

解答の組立て

解答の主軸となる要素は以下の通りである。

- ヘンリ 3 世に対し、シモン＝ド＝モンフォールらが反乱を起こし、(1265 年に) 議会在 成立した
- エドワード 1 世が、(1295 年に) 模範議会を開いた
- (14 世紀半ばに) 二院制議会の基礎が築かれた

これだけでは制限字数までまだ内容が足りないなので、それぞれの議会の説明を加えて肉付けし、解答をまとめるとよいだろう。

解説

■中世におけるイギリスの王権

1066年、フランス国王の家臣であったノルマンディー公ウィリアム（ウィリアム1世；位1066～87）がイギリスを征服し（ノルマン＝コンクエスト）、ノルマン朝を創始した。この結果、イギリス国王は、イギリスにおいては国王としてフランス国王と同等の地位にあるが、大陸ではフランス国王に仕える封建諸侯であるという複雑な状態となった。軍事力による征服を経て成立したノルマン朝は、当初から王権が強い傾向にあった。ノルマン朝が12世紀半ばに断絶すると、フランスのアンジュー伯アンリ（ヘンリ2世；位1154～89）がイギリス王位を継いでプランタジネット朝を創始した。プランタジネット朝はイギリスとフランスの西半分を支配して強大な勢力を誇り、さらに王権を強化した。

■王権の制限と身分制議会の創設

12世紀末のイギリス国王であるリチャード1世（位1189～99）は、第3回十字軍に加わって勇名を馳せたが、その帰途に神聖ローマ皇帝に捕えられ、莫大な戦費に加え巨額の身代金が必要となった。このため、負担を押しつけられたイギリス国内の貴族は不満を抱くことになった。続くジョン王（位1199～1216）は、フランス国王フィリップ2世（位1180～1223）と争って敗れ、フランスに保有していた領土の大半を失った。さらに彼は、カンタベリー大司教の任免問題でローマ教皇インノケンティウス3世（位1198～1216）と対立して破門された。また、国内に重税を課したため貴族や都市の反発を受けた。たび重なる失政に対し、1215年、貴族らは国王に、新たな課税に際しては貴族の承認を必要とすることなどを定めた大憲章（マグナ＝カルタ）を認めさせた。

続くヘンリ3世（位1216～72）が大憲章を無視して重税を課すと、1258年、フランス系の貴族であるシモン＝ド＝モンフォールを指導者とする貴族の反乱が起こった。シモン＝ド＝モンフォールらはヘンリ3世を屈服させ、1265年に聖職者と貴族に州と都市の代表を加えた議会を開催した。これがイギリス議会の起源とされる。

■イギリス議会の発展

その後即位したエドワード1世（位1272～1307）は、遠征費用などの調達のために、1295年、大貴族・聖職者のほか、各州2名の騎士、各都市2名の市民で構成される身分制議会を召集した。この議会は、その形態が以後の議会の模範とされたことから模範議会と呼ばれる。エドワード3世（位1327～77）の時代の14世紀半ばには、上院（貴族院）と下院（庶民院）から成る二院制議会の基盤が築かれた。上院議員は貴族や高位聖職者から選ばれ、下院議員は州の騎士と市民から選ばれた。20世紀前半まで上院が優位を占めたが、民意を十分に反映しない上院への批判から、1911年の議会法で上院に対する下院の優越が確定した。

◀ プラスα

ウィリアム1世は全国的な検地を実施し、検地帳のドゥームズデイ＝ブックを作成した。

✔ ここもチェック

一例として、19世紀後半に自由党のグラッドストーン政権によるアイルランド自治法案が上院の反対で否決されたことが挙げられる。